

春号 みどり通信

発行 21世紀記念公園 麓山の杜管理事務所
 連絡先 〒963-8876 郡山市麓山1-16-17
 TEL 924-2194 FAX 924-2195

【みどりの教室】

日時：2019年7月28日(日)10:00～12:00

場所：とんがりふれあい館ホール

定員：20名

内容：エコ教室 テラリウムづくり

日時：2019年8月25日(日)10:00～12:00

場所：とんがりふれあい館ホール

定員：20名

内容：季節の寄せ植え、緑の相談

***受講料無料、要予約です。**



【みどり講習会】

場所：とんがりふれあい館ホール

対象：記念樹交付者及び希望者

①日時：2019年4月28日(日)10:00～12:00

内容：常緑樹の剪定

②日時：2019年5月26日(日)10:00～12:00

内容：病気、害虫の防除

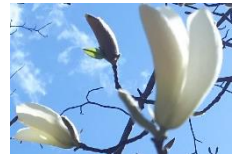
③日時：2019年6月23日(日)10:00～12:00

内容：ハナミズキの年間管理

***受講料無料、予約不要です。お気軽にお越しください。**

My ガーデニング

・・・季節のワンポイントアドバイス



【水やり】

今年の冬は降水量が少なく、乾燥していましたが、植物は3月からの雨などで芽を膨らませてきました。この時期からの水不足は、植物を枯らしてしまう事が多々あります。それ程に水分が必要な時期です。植え替えた物は、特に水切れに注意します。しかし、いつも湿っていることが良い訳ではありません。根は呼吸をしているので新鮮な酸素が必要です。その為には、乾燥も必要であり、水の通りの良い土壌条件も求められます。これからの時期は、日中の時間帯にあげるようにします。乾燥、雑草などを抑える為には、腐葉土などでマルチング(土壌表面を被う)をすると良いです。

【植替え】

これから新芽が伸び始めるまでは、常緑広葉樹の移植が適期です。植替えの失敗が少ない時期ですが、新芽が伸びてからは枯れる確率が非常に高くなります。

常緑針葉樹も芽が伸び始めた頃までが適期です。

落葉樹はこれからの時期は遅すぎます。今年の秋まで待っているのがベストです。

多くの樹木に共通している良い土壌は、赤玉土6～7割、腐葉土3～4割が基本用土です。土壌は透水性、通気性、保水性、保肥力などが大切です。市内で多く利用される山砂は決して良好な土壌ではありません。麻の布と縄で根巻している樹木は、それを外さずに植え込みます。鉢植えの場合は、少し土を落して根を切り詰めて植えます。植穴の大きさは根巻した鉢の大きさの倍くらいの広さと深さを基準とします。そして、十分に水をあげます。また、風で樹木が動かないように支柱を設置します。

この時期は、“ボタンの鉢植え”を園芸店などで見かけます。以前は、秋まで待って露地に植えるのが良いとされていましたが、現在は、花後すぐに植える事が適していると変わってきました。

【肥料】

皆さんは、寒い時期に有機質緩効性肥料を施しましたか(寒肥)。もし、まだなら急いで醗酵済み油粕をあげてみてください。時期を逃すと、生育不良などの障害がです。サツキツツジなどの春から咲く種類は、花後にお礼肥をあげると次の伸びが良くなり、花芽もつきやすくなります。化成肥料の場合は、特に窒素成分が低い物は失敗が少ないです。芝生もこの時期に肥料をあげます。草花などを植え込む時には元肥として根に接しない所にあげます。

【病害虫】

病気は予防、害虫は早期の退治が基本です。

春先は、カエデ類をはじめとして“**アブラムシ**”が新梢の所にびっしりとつき、その後、別の病気を併発したりするので防除が大事です。

“**カイガラムシ**”もサルスベリやモチノキなど多くの樹種でみかけます。退治が難しく毎年発生し、すす病も併発して、樹木を枯らしてしまう事もあるので、ブラシなどでこすり落としておきます。また、6月頃には、幼虫が発生するので、薬剤散布で対応します。

暖かくなるにつれて“**ケムシ類**”が大量に発生する事があります。これも早めに見つけて、広げず、大きく成長しないうちに退治します。その際、ケムシの種類により毒を有する場合があるので注意が必要です。ケムシにより葉がなくなってしまった場合、枝ごと切って退治する方がいますが、それでは樹木が可哀そうです。

カエデ類、サルスベリ、ハナミズキなどにでる“**うどんこ病**”も厄介な病気です。しかし、病気は発生する時期がほとんど決まっているので、その前に定期的な薬剤の散布をし、発生を抑えることができます。病気が現れてしまうと、その病徴を修復する事は難しいです。

バラ類は、病害虫が発生しやすく、受けるダメージも大きいので、日頃からの注意が必要です。品種により、病害虫に対する耐性が違います。

植物に合った良い環境で健全に育てる事が、一番大切ですね。

【剪定】

常緑広葉樹の剪定はこれからが適期となります。

キンモクセイやサザンカなどは、早めに剪定を済ませ、今年の花芽がつくようにします。ツゲやマサキなどの常緑広葉樹の生垣も、これから芽が伸びだしたら、こまめに刈込剪定をします。キャラボクやヒバ類なども同様です。マツ類は、これから新芽(みどり)を伸ばしますので、切り詰めて樹形を作っていきます。

落葉樹は展葉しますので、遅すぎます。弱い剪定に留めます。

【身近な樹木の紹介】**アカマツ (赤松)** マツ科マツ属

高木で北海道南部から九州にかけて分布しています。主に山の尾根ややせ地に生えています。

特徴は、クロマツに比べ、木の皮が赤く、枝葉の様子が優しい印象があるので、別名「女松(オンナマツ/メマツ)」と呼ばれます。

公園樹や庭園樹に多く利用されており、日本庭園には、なくてはならない存在です。

麓山公園を形作っているのがアカマツです。

根元付近の幹の色は黒っぽくて分かりづらいかもしれませんが、幹の先端の方を見ると赤みを帯びていることがわかります。ぜひ、確認してみてください。

